

京都大学	博士（医学）	氏 名	義村 さや香
論文題目	A lack of self-consciousness in Asperger’s disorder but not in PDDNOS: Implication for the clinical importance of ASD subtypes （PDDNOS では見られない、アスペルガー障害における自意識の欠如: 自閉症スペクトラム障害下位分類の臨床的重要性に関する示唆）		
（論文内容の要旨）			
<p>対人相互作用の障害は自閉症スペクトラム障害（autism spectrum disorder; ASD）の中核的特徴であるが、その障害の程度は診断の下位分類によって異なる。ASD の症状が軽度な特定不能型広汎性発達障害（pervasive developmental disorder, not otherwise specified; PDDNOS）は、自閉性障害やアスペルガー障害よりも対人相互作用の障害は軽い一方、ストレスと関連した不安や抑うつなどの二次障害に苦しむことが多い。不安や抑うつなどの精神症状は自己に関する気づきと関連することから、PDDNOS の患者は自閉性障害やアスペルガー障害の患者よりも自分自身を意識し、日常生活における自らの不適応に気づきやすいため、上記の精神症状を生じやすいという可能性が指摘されている。先行研究では ASD における自意識の障害を示唆する所見が報告されているが、アスペルガー障害や PDDNOS の自意識の状態について客観的方法を用いて調べた研究はほとんど存在しない。</p> <p>本研究では、PDDNOS 群の自意識の特徴を明らかにするため、定量的評価が可能な記憶課題のパラダイム（自己準拠効果）を用いて、アスペルガー障害群 18 名とそれよりも ASD 症状の軽い PDDNOS 群 19 名、および IQ、年齢、性別を統制した定型発達群 18 名の 3 群における自意識の状態を客観的に評価した。自己準拠効果とは、単語を自分に関連させて記憶すると、それ以外（音韻、意味、他者など）と関連させた時よりも記憶が促進されるという現象である。この自己準拠効果は処理水準効果という現象を応用したものであり、処理水準効果とは、意味に関連させて記憶すると、音韻や表記形態に関連させるような「浅い」処理の場合よりも記憶が促進されるという現象である。自己準拠効果、処理水準効果とも、定型発達者では堅固にみられることが広く知られている。今回用いた自己準拠課題では、音韻、意味、自己準拠の 3 レベルのうちいずれかの質問をした後に、ターゲット（人物特性を表わす形容詞）を呈示して回答を求めるという試行を 30 回繰り返し、続く再認テストによりターゲットが記憶されているかどうかを調べた。記憶成績について 3（群）×3（質問のレベル）の反復測定分散分析を行ったところ、アスペルガー障害群では音韻よりも意味および自己準拠の質問をした単語の再認率が有意に高く、PDDNOS 群と定型発達群では音韻よりも意味、そして意味よりも自己準拠の質問をした単語の再認率が有意に高かった。すなわち、処理水準効果については全ての群で認められた一方、自己準拠効果についてはアスペルガー障害群で欠如しており、定型発達群と PDDNOS 群でのみ認められた。また、記憶成績と言語性・非言語性 IQ について相関分析を行ったところ、定型発達群で見られた相関関係はいずれの ASD 群でも認められなかった。</p> <p>本研究により、ひとくくりで論じられることの多い ASD において、自意識の状態はアスペルガー障害と PDDNOS では異なっており、PDDNOS の患者は定型発達者と同じく自意識を有すること、ただし自意識を構成する認知機能は非定型的であることが強く示唆された。これらの特徴が、PDDNOS の患者に不安や抑うつなどの二次障害が多く発生する背景要因の一つではないかと考えられた。</p>			

<p>（論文審査の結果の要旨）</p> <p>自閉症スペクトラム障害は幅広い臨床像を有する症候群である。軽症タイプの特定不能型広汎性発達障害（PDDNOS）者はストレス関連性の不安や抑うつに苦しむことが多く、不安や抑うつは自己意識と関連することから、PDDNOS の自意識の状態は自閉性障害やアスペルガー障害とは異なる可能性がある。</p> <p>本研究では、自意識を客観的に評価できる自己準拠効果パラダイムを用いて、アスペルガー障害群と PDDNOS 群、および定型発達群の 3 群における自意識の状態を評価した。用いた課題では、音韻、意味、自己準拠のいずれかの質問をした後、標的語を呈示して回答を求めるという試行を 30 回行い、続く再認テストで標的語が記憶されているかどうかを調べた。結果、PDDNOS 群と定型発達群で自己準拠処理した標的語の再認率が有意に高く、自己準拠効果を示した。一方、PDDNOS 群とアスペルガー障害群の双方とも、定型発達群が示した記憶成績と IQ との相関関係を示さなかった。</p> <p>本研究は、一括りで論じられがちな自閉症スペクトラム障害において、自意識の状態がアスペルガー障害と PDDNOS とでは異なり、PDDNOS 者は定型発達者と同じく自意識を有すること、ただし自意識を構成する認知機能は非定型的であることを示唆した。</p> <p>以上の研究は、自閉症スペクトラム障害の下位分類による自意識の状態の違いを明らかにし、多様な臨床像の原因解明へ寄与するところが多い。</p> <p>したがって、本論文は博士（ 医学 ）の学位論文として価値あるものと認める。</p> <p>なお、本学位授与申請者は、平成 26 年 8 月 7 日実施の論文内容とそれに関連した試問を受け、合格と認められたものである。</p>			
要旨公開可能日： 年 月 日 以降			